

歌集『あかね雲』より（十二）

登美子

血糖値朝夕計りて二十年

歌に頼りて余生を送らむ

花の種物置の棚とカレンダーの四月めくれれば亡
き母の文字

来年も逢えるといいねと語らいつ軟らかき紙に
雛納めやる

読者の皆様には歌集「あかね雲」に掲載された作品すべての紹介を十二回にわたって紹介させていただきました。
ホームページにお付き合いただいた作者は九十歳を迎えようとしている小生の叔母にあたります。
ますますお元気な叔母様。これからも歌を詠みつづけそしてまた寄稿していただくと願っております。

なりひら